

母性看護学の紹介

母性看護学では、女性やその家族の生涯にわたるリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖の健康)と看護を学びます。そして、妊産褥婦や出産後の母子とその家族を対象とした女性のセルフケア向上や新たな家族形成に向けた看護に必要な知識や技術を、講義、演習、臨地実習を通して学び、母性看護学が担う社会的役割について考察を深めます。



看護学生さんの様子 ー演習風景ー



赤ちゃんの心臓の音、聞こえるかな？



新生児の観察をしてみましょう♪



実際の褥婦・赤ちゃんに来てもらって演習をしました。



哺乳の後は、げっぷをさせましょう！

*感染対策のためフェイスシールドを使用しながら演習を行っています。



教員・研究活動の紹介



母性看護学・助産学教育研究分野では母子や女性の健康支援、女性のセクシュアリティ、思春期のリプロダクティブヘルス(性と生殖の健康)教育、挙児を希望する女性への支援、子育てに関する支援や周産期に子どもをなくした家族へのケア等をテーマに、各教員が研究を行い、看護学や地域に貢献するために取り組んでいます。



助産学科目の紹介

滝沢キャンパス内の
風景写真です

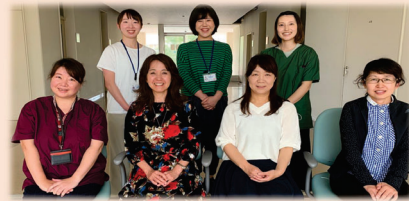


助産師はどんな職業？



助産師は、妊産褥婦と乳幼児および家族に対し、適切な助産実践をしていきます。また、各ライフステージにある女性や家族に寄り添い、生涯にわたり女性の性や生殖、健康を支える職業です。

母性看護学・助産学
教授 福島裕子



母性看護学・助産学教員一同

助産学科目の教育目的



助産実践活動に必要な高度な専門知識・技術、倫理観を教授することで、地域の女性やその子ども、家族を対象に、助産師として自立・自律した活動ができる能力を育成する。

助産学生の学びの様子





母性看護学領域の地域貢献



赤ちゃん相談

子育てをしているお母さん方は、「この方法で合っているのかな？」と何気ない疑問や「授乳量は足りているのかな？」等と不安を抱くことがあります。そんな、お母さんの疑問や不安にお答えしております！

日時：毎月第2水曜日 13時～
場所：アイーナ
子育てサポートセンター内

いわて思春期研究会

岩手県の思春期の子ども達の健康を守りたい！をモットーにし活動をしているいわて思春期研究会の事務局を担っています。年に1～2回ほど、研修会を行っています。医師・看護職・養護教諭・行政職、その他子どもに関わる職種の方が参加しています。



いのちの教育

「いのちを大事にすること＝自分を大事にすること」です。それは、他者を大事にすることにつながります。

社会を構成する一人ひとりが、自分を大事にし、他者を大事にしながら生きていけるようにとの願いを込めています。いのちの誕生をサポートする助産師だからこそ伝えられることを、各世代にお話しをしています。

◇幼児には・・・プライベートゾーンについて

◇小学生と中学生には

・・・第二次性徴・いのちの誕生・人間関係

◇高校生には・・・素敵な恋愛・月経教育・ライフプラン

◇大学生には・・・プレコンセプションケア・婦人科疾患

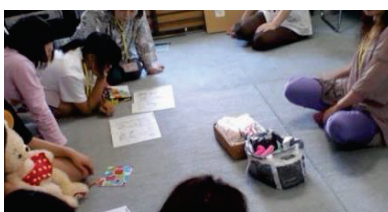
◇新婚夫婦・・・妊娠出産とライフプラン・妊孕性



児童養護施設での実践活動

児童養護施設に出向き、思春期に入った小学校高学年～高校生を対象に「いのちの教育」を実践しています。

また、児童養護施設の職員さんと共同して、入所する子どもたちの心身の健康を支援しています。



卒業生へのリカレント教育

卒業生の自己研鑽をサポートしています。特に、岩手県内に就職した卒業生達とは、お互いに近況報告をし合い、密に連携をとっています。

